

特集

コロナ禍で在宅ケアを 継続させるために 試行錯誤する現場からの報告

新型コロナウイルス感染症の流行が、在宅ケアに与えた影響は小さくありません。訪問にあたってさまざまな制限や条件の追加が強いられたり、「サービス提供控え」といった事態が発生したりもしています。感染症が広がろうと、人々の生活は続き、そこには在宅ケアを求める人たちがいます。そしてもちろん、「その人たちの在宅生活を支えるためには何ができるか」を考えている人たちもいました。支援提供を続けながら、いかに援助者を守るか。感染症対応と、温かなケアをどのように両立させるか。本号は、さまざまな困難にありながら、最適解を模索した動きに迫る記録の特集です。

地域で在宅ケアの土台を立て直す 千葉県流山市の取り組みから

●編集室

介護保険サービス事業所調査で見えた現場の工夫、 そしてこれから求められるもの

●山岸暁美

コロナ禍における事業経営と、ケア提供の両立をどう考えるか

●金坂宇将

地域包括ケアセンターの役割の解体と再構築

●猿渡進平

※一部変更となることがあります。

編集後記

自分自身もむくみやすい体質のため、個人的にも非常に関心が高い特集でした。目からウロコのあまりに何度も唸りながら読み、ついに日中に履けるメディキュット®(膝下)を購入してしまいました(過去、何度か腿上までの夜用に挫折。小川先生もおっしゃるように、夜はノビノビ寝たい……。職業柄じっと座っていることも多いので、机の下で足首をカクカクさせながらこれを書いています。そういえば、前号を読んで影響を受け、排便姿勢を整え、寝前には骨盤底筋訓練も再開しました。将来は、セルフケアができる訪問看護利用者を目指しています。……米沢

新型コロナの対応が当たり前のものになっていく中、今は「新型コロナ対応の在宅医療」と書かれるもの、いずれは「在宅医療」として記述されるようになるのかもしれませんが。「今の私たちにとって異質な姿」も、未来のある地点では「当たり前の姿」になっていて、その未来のある地点から眺めたら今の私たちこそがむしろ異質な姿であると思ったりするのでしょうか。そのように考えると、新型コロナの拡大を受け、在宅医療・ケアがどのような考えのもと、いかに変わっていったのかについて迎えるように、いろいろきちんと記録しておかないとあとと勝手ながらに思ったりしています。未来のある地点から、今を振り返ることがきっとあるはずなので。……小池

訪問看護と介護 第25巻 第11号(通巻293号) 2020年11月15日発行(毎月1回15日発行)

発行:株式会社医学書院 代表者:金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2020, Printed in Japan

1部定価:本体1,500円+税 年間購読料(税抜、送料弊社負担、年間12冊):12,600円(冊子版) / 15,600円(冊子+電子版/個人) / 12,600円(電子版/個人)

販売・PR部: ☎03-3817-5659 社内案内: ☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室: ☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当: 小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。